

史学委員会  
中高大歴史教育に関する分科会（第24期・第3回）  
議事要旨

1. 日 時     2018年4月27日 午前10時～12時30分
2. 会 場     日本学術会議 会議室 5-A(2)
3. 出席者     小佐野重利, 若尾政希, 川島真, 君島和彦, 木村茂光, 久保亨, 小浜正子,  
近藤孝弘, 坂井俊樹, 鈴木茂, 永原陽子, 三谷博, 桃木至朗
4. 議 事
  - (1) 前回議事要旨（案）の承認  
配布された議事要旨（案）を承認した。
  - (2) 史学委員会の報告  
2018年4月3日に開催された第2回史学委員会における「高校歴史教育の分科会によるアンケート」に関する意見交換について報告がなされ、承認した。
  - (3) 委員の追加について  
「科学・技術の歴史的理論的社会的検討分科会」の要請に基づき、河村豊連携会員を委員に追加すること、それにともない分科会の定員増の申請を行うことを承認した。
  - (4) 新学習指導要領をめぐって  
坂井委員の報告「『歴史総合』と『日本史探究』『世界史探究』にみる資質能力論を中心に」をもとに新学習指導要領について検討を行った。その中で、授業時間は十分か、教員は対応可能か、対応する教師教育の仕組みは整っているか、大学入試は対応可能か、教科書検定はどうなるのか等の疑問が提起された。
  - (5) 分科会主催シンポジウムについて  
2018年8月4日に日本学術会議講堂で開催する公開シンポジウムのプログラムについて検討した。  
テーマは「いま高校歴史教育を考えるー歴史総合をどう構想するかー」とし、久保委員が日本学術会議が考えていた歴史総合について、また君島委員が学習指導要領における歴史総合の特徴と問題点について報告、続いて西村嘉高氏（青山学院高等部）と堀口博史氏（埼玉県立和光南特別支援学校）が教室で歴史総合をどうつくるかという視点から報告、休憩をはさんで総合討論のなかで坂井委員が探究科目との関係、大学入試との関係、教師教育の問題等の点からコメントをすることとした。
  - (6) その他  
今回は8月4日午前11時から日本学術会議で行うこととし（昼食持参）、その次の会議は9～10月開催を前提に改めて日程調整することとした。